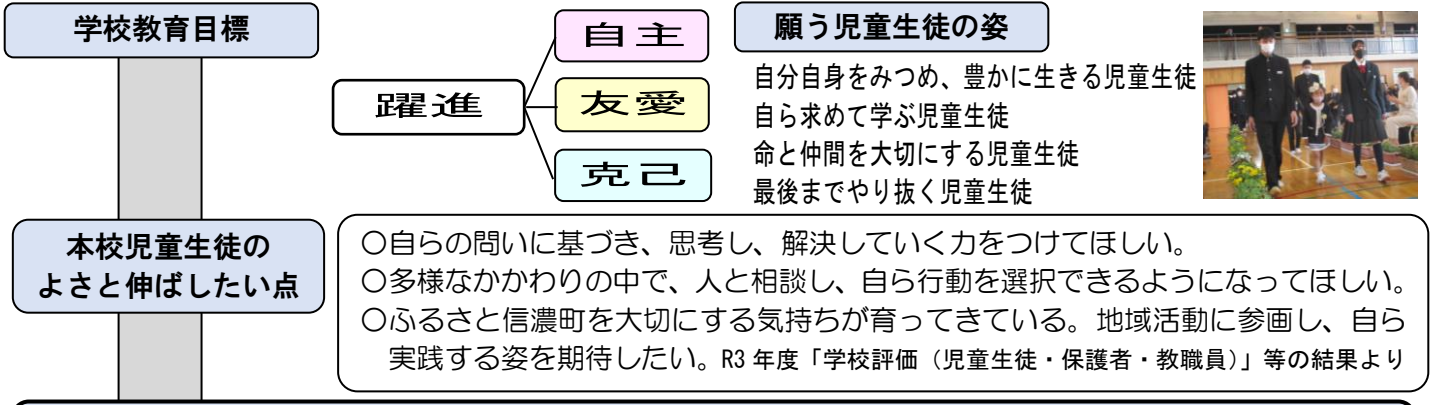


# 令和4年度 信濃町立信濃小中学校 グランドデザイン

日本国憲法・教育基本法・学校教育法・学習指導要領・長野県教育振興基本計画（第3次）・信濃町長期振興計画（第6次）

（第2次信濃町教育大綱 基本理念） 未来を拓く深い豊かな学びの創造

（基本理念）「信濃町に誇りを持ち、次代を担う人材の育成」～学びに向かう力と温かな人間性の涵養～



**重点目標** : **すべての人が安心して学べる「楽校」づくり**  
～心を開き、自ら啓き、未来を拓く～

## 重点活動とつける力

|  |   |   |
|--|---|---|
| <p><b>心を開く つながる学校</b></p> <p>1 コロナ禍を越える交流活動<br/>全校縦割り班活動を中心に学年を問わず、全校の児童生徒が声をかけ合い（あいさつをかわし）、居心地がよい学校を目指します。</p> <p>2 つなぎ目（接続期）の充実<br/>園・小、初等部・高等部、前期課程・後期課程の接続を大切に考え、全職員で指導のあり方について共有し、一人ひとりの育ちと学びを支えます。</p> <p>3 信頼関係を構築する対話<br/>信頼関係を構築する対話・相談を心がけ、更に自律の力を伸ばすため、他機関及び校内が連携し、個々の教育的ニーズに応じた支援を推進します。</p> <p><b>&lt;つながる力&gt;</b></p> | <p><b>自ら啓く 楽しい学校</b></p> <p>1 自ら求める学びの創造<br/>自己理解を高め、自ら学習を進めていくことができるよう、1人1台端末等のICTを活用し、個別最適な学習（家庭学習を含む）を支援していきます。</p> <p>2 共に創る授業<br/>信州型ユニバーサルデザインの視点から児童生徒一人ひとりの問いや願い・気づき・考えを大切に、協働的な学びを創ります。</p> <p>3 系統的な学習過程の改善<br/>9年間の学習過程を見直し、教科ごとの活動・教科横断的な活動に取り組み、児童生徒一人ひとりの学力・体力の向上を図ります。</p> <p><b>&lt;探究する力&gt;</b></p> | <p><b>未来を拓く 共に創る学校</b></p> <p>1 ふるさとを愛する活動<br/>SDGsを窓口とし、「ひと・もの・こと」への関わりを広げ、深め、行動し、持続可能な信濃町の未来づくりに参画していきます。</p> <p>2 支援の充実を図る地域連携<br/>願う子どもの姿を地域の方々（しなの学校応援団を中心に）と共有し、学習支援や教育ボランティアを充実させていきます。</p> <p>3 これからの部活動スタイル<br/>児童生徒が自己実現を目指し、たくましい心と体を育てることができるよう、学校と地域が協働・融合した部活動のあり方を検討します。</p> <p><b>&lt;挑戦する力&gt;</b></p> |
|--|---|---|

## 地域の支え 「学校運営協議会」「しなの学校応援団」「PTA」「しなのホエールズ」

授業支援 行事支援 児童生徒会支援 読書活動支援 部活動・クラブ活動支援 登下校指導支援 環境づくり支援 等



**グランドデザイン 評価の観点**

学校自己評価における以下の項目で、肯定的に回答する児童生徒の割合を増やします。

- 1 「信濃小中学校での生活は楽しいと感じている」 (R3 93%)
- 2 「誰にでも気持ちのよいあいさつができています」 (R3 91%)
- 3 「自分のクラスは、いじめのない友達関係ができています」 (R3 86%)
- 4 「自分は、家庭学習をしっかりとできるようになっている」 (R3 90%)

\*年2回の学校自己評価（7月 児童生徒・教職員が対象、12月 児童生徒・保護者・教職員が対象）を行います。その結果を教育課程編成プロジェクト、児童生徒会、学校運営協議会等で検証し、次年度の方向を決定していきます。